

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築		
市町村名	生坂村	ふりがな 箇所名	(一)宇留賀池田線 <small>うるがいけだせん</small>			(のちと 案本)	事業年度 <small>(完了年度は見込み)</small>	H24年度～	H26年度
事業概要	計画概要 <small>(延長・幅員・面積・工種など)</small>	待避所設置 3箇所 L=300m W=5.5(7.0)m					H23年度末事業進捗率	0%	
	H24年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0%	
	H24年度実施内容	測量設計 1式					用地補償費ベース	0%	
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残			
財源内訳	事業費計(千円)	30,000	0	0	5,000	30,000			
	国庫支出金		0	0		0			
	その他								
	県債	27,000	0	0	4,500	27,000			
一般財源	3,000	0	0	500	3,000				
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価		ランク	評点	
	(30)	必要性 <small>(道路網)</small>	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	C	0	
			代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある			5	
			ネットワーク	バス路線である	B 駅やICなどに通じるまたは 役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	A及びBに該当しない		3	
			ボトルネック箇所	ボトルネック箇所	ボトルネック箇所でない	0			
		観光地に通じる道路	観光地に通じる道路ではない		0				
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅員)	5.5m以上(幅員)	6			
			自動車と自転車・歩行者との分離を図る	歩道はあるが不十分であるものを再整備	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない	0			
		他事業との関連	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施			0			
	小計				14				
	(10)	重要性	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ確実性が高い	環境・景観配慮がされているが確実性が低い	環境・景観配慮をしていない	B	3	
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている		緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地震防災対策強化地域、観光圏整備実施計画認定地域に位置付けられている	特別な位置づけはない		3	
		小計				6			
	(20)	効率性	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上	B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が見られる)	B/C(3便益)1.0未満	A	3	
			事業効果の早期発現(H24以降事業年数)	事業年数 3年以内	事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上		8	
		コスト削減	全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。	コスト削減はしていない	5			
		小計				16			
	(20)	緊急性	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	交通事故や落石等の危険がない	B	10	
			各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	医療・福祉の連携に関係ない道路		0	
		小計				10			
(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	A	7		
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない		5		
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	特に住民意見は反映していない	4				
	小計				16				
費用対効果(B/C)	算定対象外	評価の合計				B	62		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、国道19号と主要地方道大町明科線を結び、生坂村・池田町両村の生活・文化及び産業・経済の活性化を図る上で重要な路線である。しかしながら、当該箇所は幅員の狭隘、急勾配により車両のすれ違いにも支障をきたしている。							
	地域からの要望経緯	毎年、県道上生坂信濃松川停車場線・県道宇留賀池田線整備期成同盟会より建設部長に対し要望がある。(H22年度はH22.7.2に要望)							
	事業説明等の経緯	生坂村役場に説明済。							
	環境・景観への配慮項目	改良区間を最小限とし、地形改変を小さくする。							
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。							
特記事項	生坂村役場と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。								
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他				
部意見	地域間を結ぶ道路としての安全確保を図るため、ローカルルール適用により、平成24年度から事業を実施したい。			政策評価課 意見	拡幅改良の必要性は認められる。				